

# 門脈ガス・腸管気腫を呈する患者の臨床的背景因子と予後との関連

## ■ 研究の対象となる方

2012年4月～2020年6月の期間に門脈ガス・腸管気腫を呈し、当院で入院加療を行った症例

## ■ 目的・方法

門脈とは腸管から肝臓に向かって流れる血液を送る血管の名前であり、通常この中には血液以外のものは流れませんが、腸管の血流障害や強い炎症などが起こると血管の中にガスが流入する「門脈ガス血症」という現象がみられることがあります。また、腸が血流障害などで壊死を起こすと、腸の壁の中にガスがたまる「腸管気腫」という状態になることがあります。

救急の患者さんのCT画像でこのような異常を認める場合、腸が腐りはじめている可能性があると考えて緊急手術に踏み切ることがありますが、実際にお腹の中をみると腸の血流に悪いところがなく観察のみで手術を終えることも時々あり、他の施設からも同様の報告が散見されます。現在のところ、画像検査で異常がみられる患者さんについて緊急手術の必要性をどう判断するのか、明確な基準は示されていません。門脈ガス・腸管気腫が検査で認められ、当院で入院治療を行った患者さんの情報を振り返って解析し、救急の臨床現場でより迅速かつ的確な治療方針決定に寄与する指標の模索を行います。

方法は、まず診療記録より「腸管気腫」「門脈気腫」「門脈ガス」のいずれかのキーワードが記載されていた患者さんをピックアップします。対象となった患者さんの画像検査結果を確認し、門脈ガスあるいは腸管気腫の少なくともいずれかひとつの所見が認められた場合にはさらに詳細なデータを収集し、統計的手法で解析します。

## ■ 実施期間

2021年1月22日～2025年7月31日

## ■ 研究に使用する情報

年齢、性別、基礎疾患の有無、発症時点での全身状態や検査データ、治療の内容、治療後の転帰など診療の中で得られた情報を使用します。この研究のために新たな検査や調査をお願いすることはありません。

## ■ お問い合わせ

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

連絡先	済生会熊本病院 外科 主任医員 辛島 龍一（研究責任者） 住所：熊本市南区近見5丁目3番1号 電話：096-351-8000(代表)
-----	---

以上